

しなの川

題字 末武県女性連会長



―誓いの言葉―

「、わたしたち商工会女性部は、女性の特徴をいかし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となります。」

「、わたしたち商工会女性部は、商工会の使命感に徹し、組織活性化の原動力となります。」

「、わたしたち商工会女性部は、社会一般の福祉の増進に努め、望まざりづくりの担い手となります。」



年頭のごあいさつ

新潟県商工会女性部連合会

会長 末武 栄子

新年明けましておめでとうございます。

平成二十一年己丑の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年は原油価格の高騰と米国発の金融不安に伴う景気減速が直撃し、我々商工業者にとっては極めて厳しい経営環境をもたらした年でした。

このような中、七月には、関東ブロック商工会女性部交流研修会を幹事県として、「おもてなしの心」を遺憾なく発揮し、大好評のうちに終えることができました。

さらに、十月の全国大会（宮崎大会）には、県内から八十余名の大勢の皆様方からご参加いただき、全女性連会長の私を支え、引き立てていただきましたことに心から感謝申し上げます。

なお、全女性連が実施した「ふるさと小包グランプリ」に、当県から応募のあった湯沢町商工会女性部の小包が、

見事、準優勝となり、新潟県の地域産品のすばらしさが認められる結果となりました。

今年も引き続き実施する予定ですので、県内女性部の皆様方から地域産品を大いにPRする機会として、積極的に取り組んでいただけたら幸いです。

また、今年は『ふれあい』『支えあい』『高め合う』を基本目標とする「トキめき新潟国体」が県内各地を会場に開催されます。

国体が開催される商工会地域では、「おもてなしの心」でお迎えし、協力することです。震災時に全国から寄せられた温かいご支援に対する商工会女性部の感謝の意を表したいと思います。

最後に、先行き不透明で混沌とした時代ですが、平成二十一年が女性部員の皆様にとって、実り多い豊かな一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第十回商工会女性部 全国大会開催される

去る十月二十七日、宮崎県シーガイアサミットホールにおいて、全国から約三千百名が集まり「今日の出会いを明日の絆に！ 女性のパワーで地域に夢を!!」をスローガンに、「第十回商工会女性部全国大会inみやざき」が開催され、新潟県内の商工会女性部から、八十五名の参加をいただきました。



大会は、宮崎市出身ハーピストの柄本舞衣子&リラの会、高千穂神楽保存会によるオープニングセレモニーで幕を開け、開会のことばを宮崎県女性連会長が行い、大会旗が入場し、大会会長である末武全女性連会長のあいさつや来賓祝辞が行われました。来賓の祝辞では、東国原宮崎県知事も壇上に立たれ、盛大な拍手で会場も盛り上がりました。

主張発表大会では、全国六ブロックの激戦を勝ち進んできた六名の代表により発表が行われました。厳正なる審査の結果、最優秀賞には、東北・北海道ブロック代表の佐藤京子さん（福島県 保原町商工会女性部）の「女性部活動と地域振興・まちづくり〜豆で達者な保原町〜」が選ばれました。保原町で何か名物になるものはないかと考える中、女性部長の発案で、体に良いと言われる地元産の大豆とじゃがいもを混ぜて作った「だんご」を入れた汁、「豆っこ汁」を女性部が開発し、特産品になるまでの取り組みについて、表現力豊かに話され、今後の女性部活動の参考になりました。



その後、元全日本バレーボール選手の三屋裕子氏を講師に、「人生のデザイン〜商いに活かすスポーツと健康なカラダ〜」と題して基調講演会が行われました。

ご自身の経験や体験から「何を行うにも、そのベースになるのは『健康』である。健康でなければ、何も行えないため、自分の健康を振り返る時間を持つて欲しい。また、何気なく毎日を過ごすのではなく、目標や夢を持ち、自分の人生をデザインすることによって、何か困難に直面した時、逃げることなく、立ち向かうことができる。逃げていては何も生まれない。何事にも立ち向かう『勇気』を持つて、商工会女性部活動に取り組んで欲しい。」と熱く語られました。

続いて、主張発表大会の表彰式、全国商工会女性部連合会の実施した事業で、優秀な成績を収めた都道府県女性連等に対して表彰が行われました。新潟県商工会女性部連合会は、『女性部員増強運動「年間実績表彰」都道府県商工会女性部連合会の部』第五位に輝き、表彰されました。





その後、大会引継ぎセレモニーが行われ、九州ブロックから次回開催ブロックの東北・北海道ブロックに大会旗が引き継がれました。次回開催県の岩手県商工会女性部連合会の及川会長から、第十一回商工会女性部全国大会の開会時期等のPRが行われ、閉会宣言で大会が終了しました。

大会開催中、全女性連の実施する「ふるさと小包グランプリ」事業の二次審査が行われました。一次審査を通過した二十種類の小包が展示され、新潟県からは湯沢町商工会女性部の「越後、日本海と魚沼の物語」と題した小包が展示されました。審査の結果、茨城県北茨城市商工会女性部の小包「高級なあんこう鍋を、手軽で身近に食卓へ」が最優秀賞を

受賞されました。

また、宮崎県内の特産品コーナー、九州各県の物産コーナーも多数設置され、多くの参加者で賑わっていました。

続いて、交流会も同会場にて開催され、約千八百名が参加しました。アトラクションや各地区女性部の芸能披露で大変盛り上がる中、各都道府県商工会女性部の方々と交流を深めました。

翌日、十月二十八日は、県女性連県外視察研修を兼ねて、熊本県の阿蘇山草千里を見学しながら大分県へ移動し、年間四百万人が訪れ、「明るく健康的な保養温泉地」づくりを目指し、歓楽性を極力排除し、自然と人間との調和のまちをかたくなに守ってきた「湯布院」の町並



みを視察しました。

湯布院町は、町ぐるみで自然環境や住環境に取り組み、全国に先駆け町独自の環境条例を制定しました。恵まれた自然環境と豊富な温泉を守り生かしてきたことから、国民保養温泉地や国民健康温泉地の指定を受け、また、潤いのある町として自治大臣表彰や国土庁第一回アメニティーコンクルールの最優秀賞も受賞しました。

十月二十九日は、大分県日田市・豆田町を視察しました。

天領日田（日田市）は古くから北部九州の各地を結ぶ交通の要所として栄え、江戸時代には幕府直轄地・天領として、



九州の政治・経済・文化の中心地として繁栄したところです。中でも、城下町として建設された豆田町は、九州の経済、文化の中心として栄え、基盤目状の町並みには旧家や資料館が建ち並び、近世後期の町人・商人町の面影を色濃く残す貴重な地区であり、平成十六年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。現在も当時の歴史的な町並みや伝統文化が受け継がれています。

以上で、全国大会及び県外視察研修の全日程を終了し、一路、新潟へ向かいました。ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

栄えある受賞

去る11月27日（木）東京都渋谷区のNHKホールにおいて、開催された第48回商工会全国大会にて、功労賞等の表彰が行われました。当県女性部からは中小企業庁長官表彰 功労者表彰に牧商工会女性部長の渡辺暁子さん、また、全国商工会連合会長表彰 優良商工会女性部表彰に中之島町商工会女性部及び小国町商工会女性部が受賞されました。

受賞にあたり、喜びの声を伺いましたので掲載いたします。益々のご活躍並びにご発展をお祈りします。

中小企業庁長官表彰

功労者表彰



牧商工会女性部長
渡辺 暁子

平成十八年に全国連合会長表彰をいただき、多いに恐縮しておりましたのに、更にその上の中小企業庁長官表彰を新潟県で私が再び・・・身に余る賞に、自分の力のなさを痛感しているだけに、とまどいを感じ、身のすくむ思いでございます。

県女性連役員、事務局、地元の皆さんの温かいお気持ち私を支え、押したり引っ張ったりしてご協力いただいたおかげで、このような栄誉に浴することができましたこと、本当に感謝以外、言葉もございません。

六年前、思いがけず県女性連の役員をさせていただいた幸運が、このような結果をもたらしてくれました。いっばいの出会いもいただきました。勉強もさせてもらい、視野も広がりました。これまで生きてきた私の人生の集大成と受け止めて、すべての方々に、「ありがとうございました」と、頭を下げさせていただきます。

全国連合会長表彰

優良商工会女性部表彰



中之島町商工会女性部長
原 田 弘子

私たち中之島町商工会女性部に、優良女性部表彰という栄誉を与えてくださり、大変ありがとうございます。

去る五月二十六日には、平成十九年度部員増強運動優良表彰をいただいたばかりでしたので、ダブルの受賞に、「え、なぜ、本当ですか？」と、部員一同驚きと信じられない気持ちでいっぱいでした。それはきつと、底抜けの明るさと団結力が導いてくれたのだと確信しております。そして、何よりも努力が結果として残せたことが、最高の喜びです。

そのような中で、至らない部長を部員の皆様が支えてくださり、また、ここまでの長いレールを敷いてくださった先輩方、いつも温かいご指導をくださる事務局の方々の協力があったからこそ感謝しております。

今後この表彰に恥じない活動をしていかなければと、部員一同、心を新たにしているところです。今後とも、ご指導くださいますよう、どうぞよろしく願っています。



小国町商工会女性部長
米 山 ハル子

この度、昨年度の部員増強運動における、日頃の小さな活動が認められ、優良女性部表彰を受賞できましたことは、これも偏に、女性部員のご協力と、事務局の方々の温かい指導のお陰と、心より感謝しております。

アメリカ発の金融危機の大波により、大手のリストラ等々、日本の景気は後退局面に向かっており、地域の商工業者の生活もこの大波にさらされております。

昨年の女性部全国大会（宮崎大会）でいただいたパワーと絆を、部員さんお一人お一人に伝えながら、「丑年」を元気に出発してまいります。ちなみに、今年の全国大会は、宮沢賢治の古里、岩手県に決定しました。小国町商工会女性部の皆さん、今から計画を立て、ロマンあふれる岩手県に皆で参加しませんか!!

